



～笑顔あふれる  
育ちのひろば～  
令和6(2024)年3月22日  
社会福祉法人 見真会  
明光保育園

朝晩の寒さが次第に和らぎ、晴れた日の日差しに春らしい温かさを感じる季節になりました。桃や梅の花から桜の花へ、温かい春が、すぐそばまでやってきています。

「笑顔あふれる育ちのひろば」を保育理念として、子どもを真ん中に置いた保育、子どもが主体的に行動できる保育、そして、保護者の方や地域の方々とともに育つ保育を進めてきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の緩和を機に、年長児による交通機関を利用した園外活動、乳児クラスの行事への参加、保護者クラス懇談会などを開催することができ、保護者の皆様方とともに、子育ての悩みや不安、子どもたちの育ちを共有する機会を持つことができました。また、身近な施設を利用した保育活動の展開など、地域での活動を増やすことができ、保育活動の充実にもつなげることができました。

また、9分野での保育士の専門性を活かした学習支援体制の中で、多様な視点から子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの持っている可能性を伸ばす支援に取り組んできました。それにより、子どもたちは、物事への意欲、豊かな発想力、思考力、集中力、挑戦力などが身に付き、日々変化する環境にも人や自然を大切にしながら、自己を発揮して伸びる力がついてきています。

さらに、保護者会の支援を受けての「絵画のひろば」「体操のひろば」「お茶のひろば」の活動も3年が経ちます。毎年応募している《筆の里ありがとうのちょっと大きな絵手紙大賞》では、子どもたちの個性あふれる作品が入賞するなど、子どもたちの自信や意欲へとつながっています。

また、体操のひろばの継続した取り組みから、運動をすることが苦手が好きに変わり、さらには、得意に変わるなど、子ども自身の大きな変化となったり、伝統文化に触れる貴重な体験やあいさつなどの礼儀作法を身に付けるなど、これらの体験をとおして、さらなる芸術での豊かな自己表現、運動能力の向上や人との関わり大切さなどを日々積み重ねています。

保護者の方々には、子どもたちの保育活動、日々の感染防止対策など、多くのご理解とご協力をいただき深く感謝いたします。

次年度も子ども一人ひとりの思いを大切に受け止めることで、「やりたい」「できる」「できた」を自信につなげ、園での社会、文化、自然などの体験をとおして、豊かな体験が得られ、自ら考え、自ら学び、また仲間と協力しながら、人を思いやる心や感動する心など、生きる力を育てていきます。



お別れ遠足



3月14日(木)に白組、青組、黄組で、岩滝山公園へお別れ遠足に行きました。白組、青組は、岩滝山登りに挑戦し、自分たちの足で一歩一歩前に進み、みんなと一緒に山頂まで登りきることができました。

勇気を持って登っていく白組の子どもたちの姿が、青組の子どもたちの励みとなり、「がんばろうね!」と、互いに声を掛け、思いやる優しい姿が見られました。

公園で待つ黄組のみんなに、「ヤッホー!!」と、山頂から叫んだ声が届き、みんなで手を振りあい、子どもたちにとって楽しい思い出になりました。来年度も、子どもたちが何事にもみんなで挑戦してくれることを楽しみにしています。



3月23日(土)に令和5年度の卒園式を開催します。

今年度は、18名の園児が卒園を迎えます。

今日まで子どもたちは、大切な仲間とともに、嬉しいこと、悲しいこと、楽しいこと、悔しいことなど多くの経験を重ね、たくましく大きくなりました。色々なことへ挑戦し、一つひとつ乗り越えるごとに、自信を深め、諦めずに前へ進む力を育みました。これまでの経験が、子どもたちの生きる力の土台となり、小学校へ行っても、ますます頼もしく成長していかれることと思います。

職員一同、これからも、白組18名の子どもたちの成長を温かく見守り、輝く未来に向けて挑戦し続けることを応援しています。

日	月	火	水	木	金	土
17 休日保育	18	19 体操のひろば (青・黄組)	20 春分の日 休日保育	21	22	23 卒園式 (白組)
24 休日保育	25 理事会 ←身体測定週間	26 散歩 (白・桃組)	27	28	29	30
31 休日保育	1	2	3	4	5	6 入園式 (新入園児)
休日保育	電話 (082) 824-7801 FAX 824-8030 メールアドレス info@kenshin-meikou.jp ホームページ https://kenshin-meikou.jp 3月の園だより担当 米田・原田					



## 一年間のクラスの育ち！

### 【ひよこ組 0歳児 13人】担任:森戸, 副担任:倉留

保育士との愛着関係を築き、安全で安心できる環境の中で生活することをとおして、様々な物に興味を持ち、自分でやってみようとする気持ちが育まれることを目標に、保育を進めてきました。

朝の会では、季節の歌を歌い踊ったり、絵本の読み聞かせをみんなと一緒に座り集中して見られるようになってきました。

食事面では食前食後のあいさつをしたり、自分で食べようとスプーンやフォークを持ち、頑張っています。

運動面では、歩く、走る、登る、下る、跳ぶなど積極的に体を動かして遊んでいます。

次年度も、一人ひとりに寄り添い、表情や仕草や喃語を丁寧に受け止め、子どもたちの気持ちを満たしていくことで心地良い生活を送ることができるよう支援していきます。



### 【白組 5歳児 18人】担任:栗林

クラスの仲間とのかかわりを深め、協力して共通の目的に向かい、達成感や充実感を味わいながら、就学に向け、様々なことを吸収できる土台を作ることが目標に取り組んできました。

子どもたちが自らの力でやりたいことや、興味、関心を持ったことなど、様々な活動の中で意欲的に取り組む姿が見られるようになり、最後まで諦めず挑戦し、達成することで自信につながり、積極的に行動することができるようになりました。

グループ活動や集団での活動をとおして、友だちや仲間を思いやる心や相手の思いに気付き、考える気持ちが育まれ、仲間の一人としての自覚が芽生えてきました。仲間意識が高まり、みんなで同じ目標に向かって協力する大切さを知り、一つのことを成し遂げる力が付いてきています。

みんなで一緒に過ごせる時間が残り数日となり、楽しい思い出を作りながら、就学へ向けての取組みや小学生になることに期待を膨らませて過ごしています。

保育園での残りの一日一日を大切にしながら、これまでの成長に感謝の気持ちを持ち、みんなの心をつなげて卒園を迎えられるように支援していきます。

### 【赤組 1歳児 8人】担任:金井

自分の思いをことばや行動で示すなど、自我の芽生えを育んでいくことを目標に保育をしてきました。

おやつや給食後の片付け、排泄、帰りの身支度を、保育士と一緒に毎日繰り返すことで、生活の流れも覚えて、少しずつ一人でできるようになりました。できた時には「できた」と嬉しそうに保育士に伝えてくれます。「すごいね」「自分でできたね」など、褒めたり一緒に喜ぶことで、子どもたちは自信につながり、「自分でやりたい」という気持ちを抱き始め、意欲を持ち始めてきました。

子どもが興味や関心を持ったことを自分なりの力でやってみようとする中で、身近な人と関わる心地よさを感じ、安心して見る、聞く、触れるなどの楽しい探索活動を育んでいけるように支援します。



### 【黄組 3歳児 19人】担任:今田

生活や遊びの中の様々な経験をとおして、みんなとの関わりを楽しみ、自分の思ったことや感じたことを言葉でやりとりできることや、食事のマナーやあいさつ、手洗い、排泄などの生活習慣を身に付けていくことを目標に保育を進めてきました。

保育士やみんなと一緒に活動する楽しさを知り、周りの人への親しみや信頼を持つことにより、日々安心して過ごせるようになりました。安心感を持つことで、自分のしたいことに挑戦したり自分でやってみようという意欲にもつながり、何でも自分でやってみることで、「自分でできた」という自信を通じて、自立心を育むことができました。

自分で何でもできるようになると、遊びも広がり、みんなと一緒に遊ぶことも増えてきました。最初は相手の気持ちにも気付くことができず、トラブル続きでしたが、保育士から相手の気持ちを聞き、自分の気持ちとの違いに気付き、折り合いをつけようとすることも少しずつできるようになりました。仲間と一緒に一つのことに向かって挑戦する喜びも感じ、クラスで心を通わせることができるようになってきています。

進級に向け、自分の気持ちを自分で相手に伝え、クラスのみんなとのかかわりを深めていけるよう支援します。

### 【桃組 2歳児 15人】担任:松本

身の回りのことなどを自分の力でやってみようとすることや、友だちへの関心を持ち、みんなで一緒にやってみようとすることを目標に、保育を進めてきました。

基本的な生活習慣が次第にできはじめ、生活や遊びの様々な場面で、自分の力でできたことに満足感を持ち、それを褒めてもらうことで、喜びを感じています。

子どもたち同士のつながりも深くなってきて「赤ちゃん」や「ねこちゃん」など役割を決めたごっこ遊びの中で、みんなで一緒に同じ遊びを楽しみながらかわいらしい会話も聞こえてきます。

また、運動会、発表会ごっこを通じて目標に向かって頑張ること、みんなと一緒にする楽しさにも気づくことができました。

元気いっぱいパワフルな子どもたちは、走ったり、跳ぶ、登る、ぶら下がるなど全身を使って、遊びの大好き！友だち大好き！毎日いきいきと生活しています！

4月から黄組に進級します。自信と期待を持って新年度のスタートができるように、一日一日を大切に充実した保育活動を進めていきます。



### 【青組 4歳児 16人】担任:島崎

クラスの仲間と共通の経験をする中で、協力してやり遂げようとし、最後まで諦めない気持ちを持つことができることを目標に取り組んできました。この1年でルールのある遊びや伝承遊び、ごっこ遊びなど色々なことに興味をもって遊ぶようになり、運動会や発表会では、苦手な事にも積極的に挑戦して、自分の中で目標を決め、努力したり、クラスのみならずと考えたり、助け合い、協力したりする力も付いてきました。

また、文字や数、自然等にも興味・関心を持ち、自分の名前を読んだり書いたりできるようになり、絵本や「あいうえお」を、表から見て学び、友だち同士で手紙のやりとりなどにも発展していきました。

集団で遊んだり、一緒に協力して活動することが増える中で、時には思いの違いからトラブルが起きることもありましたが、自分の気持ちを言葉で伝えたり相手の思いに気づき、話し合っ解決することができるようになり、思いやりの心が育まれてきています。

4月からは、年長児として様々な事に挑戦、経験し、諦めない気持ちを育み、より一層チームワークを深め仲間と協力し合い、保育園のリーダーとして自覚を持てるように支援していきます。



## ☆9分野の専門支援でチーム保育を推進☆

### ①知識能力(知育)支援担当:原田 園長代理

子どもたち一人ひとりが持っている知的能力を高めることを目標にして日々の支援に取り組んできました。

子どもたちは遊びの中で、興味や関心を広げ、知的好奇心や探求心に発展し、一つの遊びの中に多くの学びが見つかりました。そんな子どもたちの「やりたい」「みたい」「しりたい」を大切にしながら、一緒に凶鑑を広げて調べたり、動画を観て想像力を育んだ後に、実物を見て、触って、感動を味わったり、色鉛筆などを持って、描いたり、挑戦したりすることで集中力や聞く力を育みました。

意図的に保育を展開していくことで、思考力、想像力、判断力が自然と子どもたちに身に付いてきています。

子どもたちができる、できないだけでなく、安心して挑戦でき、認め、見守られる環境の中で、豊かな経験をするのが、子どもたちの生きる力につながっています。



### ③運動機能支援担当:西川

1年間をとおして、運動機能の基礎が身に付くことや、運動を楽しむことができるようになることを目標にして、マットや鉄棒、跳び箱、平均台などの運動器具や縄跳び、大縄跳び、ボールなどの遊具を使って年齢ごとに取り組んできました。

チャレンジカードを用いて目標をたて、できることが増えていくことで、向上心や挑戦心、意欲が高まり、粘り強さがついてきたように思います。運動が楽しいと感じられるように運動機能のさらなる発達の可能性を伸ばしていけるよう、安全に配慮し、楽しみながら伸び伸びと支援をします。

### ⑦食育支援担当:酒井, 佐々木栄養士

食や栄養、健康や食文化への興味や関心が高まるよう、行事や季節の食材などに触れる機会を増やし、行事食や郷土料理と一緒に食べることを取り入れました。

また、白組の園児を中心に行ってきたクッキングに青組や黄組の園児も挑戦し、お手伝いをしました。自分たちで作りたい料理を考え、野菜を栽培・収穫しクッキングすることにも挑みました。

実際に体験することで、より「食」への関心が高まったと感じています。今後も様々な経験を通じて、食に関する知識や食を選ぶ力などの「食を営む力」を育めるよう、年齢に合わせた「食」の体験を増やしていきます。

### ④, ⑧言語安全支援担当:石崎 幼児主任

子どもたちの豊かな表現力が身につくよう絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に、子どもたちが文字や物語に触れる機会を作ることに重点を置いて支援しました。

興味がある絵本を中心に読み聞かせることで、子どもたちの関心が高まり、読み終えた後も、絵本の中の登場人物を園内に隠し、各クラスで話し合い、見つけるあそびに展開させるなど工夫して楽しみました。

翌日には、さらに想像を膨らませて、ストーリーが広がり、他児や保育士に話をする子どもたちが増え、みんなとの会話を楽しむきっかけとなりました。

また、安全教育では、日々の生活の中で、「地震の時は」「不審者が来た時は」など、こういったシチュエーションでも落ち着いて対応できるよう、自分で身を守ることに、話をしていきました。来年度は、引き続き絵本等に触れる時間を作り、子ども達が自主的に、疑問に感じたことを調べたり話し合う時間を設けていきます。



### ⑤音楽表現担当:相原 リーダ

豊かな感性や表現力を育むことができるよう、子どもたちの年齢に応じて「歌う・楽器遊び・リズム遊び・ピアノカ」に段階的に取り組みました。

子どもたちの興味関心のあることから始めることで、集中力がついたり、白組、青組の園児には、一人ずつ簡単な楽譜を持たせ、自分の目で見ることで、音譜にも興味を持ち、楽譜カードによる遊びの中から音譜への基本的な読みも自分でできるようになり、音楽への関心を広げることができました。

リズムや音程の違いを聞き分け、ピアノの停止に合わせて止まるなどリトミック遊びをとおして、音を聞きながら判断して動く「即時反応」の力も養い、できることが一つひとつ増えることで自信を持って取り組めるようになってきました。

音楽に親しむことで、自分らしく表現することが、少しずつできはじめ、聴く力から言語能力、運動能力、協調性などが養われるよう、引き続き支援していきます。



### ②創作・造形支援担当:奥崎 乳児主任

作ったり、描いたりする楽しさを感じて、その中で豊かな感性が育っていくように、はじき絵やにじみ絵などの様々な技法や折り紙、画用紙、和紙などの素材を使って創作に取り組んできました。

どのクラスでも絵の具に触れる機会を多く持つようにし、色への興味につながったり、自分から色の混ぜ合わせを試したり、楽しんで創作することができていました。

子どもたちが色や素材などを自分で選んで決めることで、表現したいことをイメージし、自分なりの思いを形にする気持ちが見られ、個性豊かな表現ができるようになりました。

創作をすることで、みんなで作る楽しさや感じたことを伸び伸びと表現する面白さ、一人ひとりの違いや良い所を受け入れることにもつながっています。

来年度も、様々な素材を用いた作品作りが楽しめるようにし、子どもたちが自分なりに表現する喜びをしっかりと感じることができるようしていきます。

### ⑥健康支援担当:今田 黄組担任

健康に必要な手洗いやうがいなどの習慣や感染予防の知識が身につくよう支援してきました。

新型コロナウイルスや、インフルエンザウイルスなどの感染症の流行に伴い、手洗いやうがいの仕方や予防の大切さなどを子どもたちと毎日一緒に行うことで、感染予防の意識を高めることができました。

虫歯予防デーには、歯の大切さや磨き方を知らせたり、冬の空気の乾燥や便の仕組みについてなど、絵本やエプロンシアターを用いて、子どもたちに分かりやすく伝え、考えることで、自分の体や健康に興味を持つことができ、健康について考えるきっかけになりました。

自分の体の仕組みや健康に興味を持てるよう、これからも健康について分かりやすく伝えていきます。

### ⑨園芸栽培支援担当:米田園長

1年をとおして、四季の自然に触れるために、計画的に植物を植えていきました。土作りや種や苗植え、3歳児以上は水やりを行い、植物の成長を観察しました。

白組の園児は、ピーマン、なすびを使ってデイキャンプの夏野菜カレーを作ったり、青組の園児はピーマン、なすび、ズッキーニを使ってピザ作りに挑戦しました。冬野菜では、白菜やキャベツ、ブロッコリー、カリフラワーを全クラスがそれぞれの野菜を収穫でき、実際に食べたり、持ったり、匂いのかぐなど、五感を使って感じる事ができました。玄関にプランターがあることで登降園時に親子でそれぞれの植物の成長を見て会話が広がりました。

来年度も植物に触れることで生命や命の不思議さを感じ、収穫する喜びや食べる喜びなど、食育にもつなげていきます。





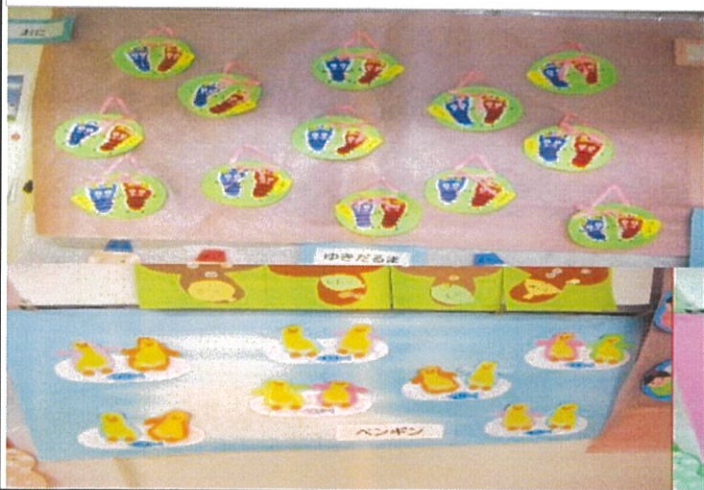
2月9日(金)～25日(日)まで、ひよこ組から順に作品展を開催し、多くの方に観に来ていただき、本当にありがとうございました。0, 1, 2歳児は、クレパスでのなぐり描き、指先や手を使って絵の具を塗りたくったり、新聞紙や紙を丸めたり、折り紙をちぎって貼るなど、自由に表現をすることを楽しんでできました。

3, 4, 5歳児では、自分で素材を選び、色を考えたり、向きや形にこだわったり、イメージを広げ、様々な道具を使いこなしながら、自ら創意工夫をして自分らしさを表現できるようになっています。

子どもたちが育んだ豊かな感性を大切に、未来のゴッホ、モネの誕生を楽しみに創作活動を進めていきます。



ひよこぐみ  
～はじめて おえかき ペったん～



あかぐみ  
～ぐるぐる パタパタ たのしいな♪～



ももぐみ  
～つくってみよう! やってみよう!～



きぐみ  
～のぞいてみよう ねずみのおうち～



あおぐみ  
～みんなのげんきもりへようこそ～



しろぐみ  
～夢に向かって 羽ばたこう!～

